

●2026 年 7 月 4 日 昆虫観察会 里山農園 大人 13 人、子ども 15 人、スタッフ 7 人 35 人

確認できた生き物 43 種 ハグロトンボ トノサマガエル キマワリ ヤマトタマムシ コミスジ
 キタキチョウ モンシロチョウ ノコギリクワガタ 雌雄 コクワガタ ミヤマクワガタ ベニシ
 ジミ コチャバネセセリ ウラギンシジミ ダイミョウセセリ オオスズメバチ スズメバチの仲間
 ケラ 幼虫 アカガエル トノサマガエル オオカマキリ幼虫 コシアキトンボ アメリカザリガ
 ニ コオニヤンマ ヒトスジジマカ ヤブカ ヨツボシケキスイ モンキアゲハ ヤママユ仲
 間 アケビコノハ トホシテントウ カナヘビ ヒバカリ アキアカネ キリギリス 幼虫
 バッタ 幼虫 ショウリョウバッタ 幼虫 イナゴ 幼虫 ガムシ カナブン アオカナブン ク
 ロカナブン ヒメウラナミジャノメ

教育棟床の除草で確認した雑草 10 種 カタバミ ヒメジョオン オオバコ クサイチゴ ベニシダ

天気が今にも雨が降りそうな曇り空でした。3 家族が欠席となりましたが参加された皆で教育棟
 や観察棟の近くで生き物を見つけようと賑やかに野歩きをしました。感想では身近でこんなに沢
 山の生き物が、見つかるなど大変驚いた、すごく豊かな環境であることを知った。子ども達のど
 の子も元気に走り回り生き物を捕まえていました。普段はこんな環境は無く良い体験ができたの
 ではないでしょうか。12 月にオオムラサキの幼虫を見つけ飼育して先日羽化させ交尾も確認でき
 た当時中学 3 年生だった吉村君の体験話に目を丸くして聞き入っていました。最後に教育棟周囲
 の雑草をみんなでひき抜き、来たときよりも美しくして、そして栽培農園で収穫ホヤホヤのジャ
 ガイモを買って帰りました。午後から希望者 7 人が桜谷先生と生駒山へオオムラサキの飛翔を確
 認に出発しました。

閉会前の一言発言
 で、中沢君のお母さ
 さんから参加者の皆さ
 さんに里山の会は 80
 才近い高齢者が頑張
 って里山農園を維持
 されている。この環
 境を維持していくた
 めにご入会をお願い
 すると力強く呼びか
 けがされました。



この日のスタッフは 金田 森島 大田 播川 野村 桜谷 山村 中沢 吉村 (8 時から会場設営と危険箇所点検)

その日の夕方に送っていただいた感想文

◆今日はやましろ里山の会の昆虫観察イベントに
 参加してきました。
 クワガタも 10 匹以上捕獲することができました。他
 にもハグロトンボやケラ、大きなカエルなどなど普
 段あまり見かけることがない生き物がいて子供達も
 大満足だったと思います！7/25 のライトトラップも
 楽しみにしておきます。ありがとうございました！



◆本日、やましろ里山の会の昆虫観察会に参加しました。クワガタムシだけでなく、タマムシやニホンアカガエル、バッタ、カマキリなど、たくさんの生き物に出会うことができ、子どもたちは大喜びでした。帰りに普賢寺の道の駅へ立ち寄ると、トノサマガエルやハグロトンボを見つけ、「これ知ってる！」と大興奮。近くにいた小さなお子さんにも「これはトノサマガエルだよ」「ハグロトンボだよ」と嬉しそうに教えていて、観察会で学んだことがしっかり身についているんだなと感じました。お安くお譲りいただいたお野菜も、今夜の食卓で美味しくいただきたいと思います。いつも貴重な体験をありがとうございます！



里山農園にはこれ程のレッドデータに記載された生き物が生育しているのです

農園付近での確認された絶滅危惧種（環境省 京都府）

カヤネズミ(京都府準絶滅危惧)	ニホンマムシ(京都府要注目種)
ヤマカガシ(京都府要注目種)	ヒバカリ(京都府要注目種)
シロマダラ(京都府要注目種)	
<u>ヤマトサンショウウオ</u> (環境省絶滅危惧Ⅱ種絶京都府絶滅寸前種)	
ニホンアカガエル(京都府要注目種)	トノサマガエル(環境省準絶滅危惧)
シュレーゲルアオガエル(京都府要注目種)	
<u>オオムラサキ</u> (国蝶 ・環境省潤絶滅危惧・京都府準絶滅危惧)	
ミドリシジミ(京都府準絶滅危惧)	ウラナミアカシジミ(京都府準絶滅危惧)
オナガミズアオ(環境省準絶滅危惧)	コガムシ
ウラミスジシジミ	オオタカ(環境省準絶滅危惧)
ノスリ(京都府準絶滅危惧)	サンコウチョウ(京都府準絶滅危惧)
サンショウクイ(京都府準絶滅危惧)	ササユリ コ克蘭 エビネ
スズサイコ(環境省準絶滅危惧・京都府準絶滅危惧)	ヤマドリ(京都府準絶滅危惧)

100m 四方範囲に存在する自然環境

里山	栽培農園	エノキ林	コナラ林
教育棟	観察棟	池（水溜り）	湿地

その他の出没する動物

イノシシ アライグマ ノウサギ タヌキ (作成中＝中沢洋斗)

●7月も中頃になり、昨年より11日遅く7月8日に梅雨開けが発表されました。

一方で平年よりは11日早い梅雨明けとなりました。これからいよいよ暑い夏が本格的になるといわれています。屋外での活動では熱中症対策をお願いいたします。山に入るとお金や保険証を持っても役立ちません。同行している仲間に迷惑にならないよう水分などしっかり各自で準備しておくことが重要です。

●夜の昆虫観察会参加者を募集します

プログラムを昆虫関係の皆さんと事務局会議出席者で楽しい取組にするためのどうしたらいいかと検討しています。里山農園には白土山への周遊路が出来ていますので山歩きの提案がされました。昔、普賢寺は茶産業と稲作そして木炭の製造がおこなわれる中で磨き砂（台所の洗剤）が重宝されて、それを掘り出されていた跡地が洞窟として遺跡になって放置されています。訪ねる企画として計画されています。この白土の地層は京田辺市の松井地区まで続いているといわれています。ぜひ一度は訪れてみてください。面白い企画ですよ。

もちろん夜に集まってくる昆虫がどういった種類のものが見られるのか興味がわきますね。今年は月に1回定期的に調査を継続することになっていますので、これまでの取組とは違ったところのお話も聞けるかもしれませんよ。

夜の昆虫観察会

7月25日（土）

昆虫は生息場所が水の中、水面、草むら、森、湿地と多彩で、動物界の過半数の種を占めています。それだけ昆虫は環境に適応し多様に進化したと言えるでしょう。明るさで言えば、昼間に活動するものもあれば 夜間に活動する昆虫もいます。なぜ夜に活動する昆虫がいるのでしょうか。夜に昆虫が活動するメリットは何でしょうか。

今回は、夜間、ライトトラップ（青色の光）に集まる昆虫を観察することにします。どんな昆虫がやってくるのか楽しみです。明るい時間帯には、昼間の昆虫観察も行います

また 近くにある白土の採取跡・洞窟の見学も行います。白土の成分は珪藻土で磨き粉として合成洗剤が普及するまでは必需品として利用されていました。歴史をさかのぼれば 1849年「白土採掘と販売の許可を願ひ出る」という古文書に紹介され江戸末期にはすでに採掘が行われていたと言われています。白土採掘は戦後も営まれていました。山歩きをしながら現地採掘跡地の視察を行います。みなさんの参加をお待ちしています

集合 16時00分

場所 里山農園 普賢寺 水取菰谷 普賢寺小学校から南 800m

指導 桜谷保之 元近畿大学教授 里山の会顧問

スタッフ 野村治（里山の会理事） 金田徹（里山の会昆虫世話係）

服装 長袖 長ズボン 運動靴 帽子

持ち物 長靴 防虫スプレー お茶 軽食 ライト 網 ケース等 タオル 水1L

参加費 無料 1日保険に加入します

参加申し込み 事前の申し込み 住所 氏名 年齢学年 電話番号 ➡

雨天の場合 警報になれば中止 少雨開催の方向

連絡先問い合わせ 0774-64-4183

プログラム 17:00 開会挨拶 諸注意 自己紹介

17:10 講師紹介 挨拶

17:20 白土山洞窟 採掘跡の見学

18:30 農園周辺の観察 農園付近散策

19:30 ライトトラップ開始

20:15 まとめ 交流

20:30 解散



または fdddw257@yahoo.co.jp



主催 特定非営利活動法人 NPO やましろ里山の会

住所 京田辺市田辺深田 15 電話 0774-64-4183 (f 兼)

七月に咲く木津川の花



メハジキ



オニユリ



キンミズヒキ



カラスウリ